

## 宮城裕子 みやぎひろこ (ピアノ) プロフィール

ピアノを佐々木健に師事し、自然奏法を学ぶと同時に彼の音楽に対する姿勢に深い影響を受ける。パリに留学してヴラド・ペルルミュテール、ジャン・ミコー、スザンヌ・ローシュに師事。

1987年フランスヴィガン音楽祭に招かれリサイタルを開き、「トップクラスのピアニスト」「完璧なテクニックと厳密なヴィルトゥオーゾ」と評される。1990年パリ、アンヴァリットで、ロジェー・ブートリ指揮パリ・ギャルド管弦楽団ともモーツァルのピアノ協奏曲を共演。2001年ワルシャワショパン協会に招かれリサイタルを開くなど、仙台を拠点に国内外で活躍。

最近では、2007年米国カリフォルニア州でリサイタル・室内楽のコンサートを開催、ロバート・ライト作曲「コンチェルト」を初演し好評を博す。2008年8月フランス金管五重奏オルフェオと、フランス各地で演奏会を開き、特にブルジュのテアートル・サン・ボネでのコンサートではベリー・レピュブリカン紙に「感動的な優雅で美しいタッチで、聴衆を酔わせた」とソロ演奏を高く評価された。

ポーランド DUX 社より、ワルシャワ室内オーケストラと共演のモーツァルトピアノ協奏曲の CD を発売。

鍵の会 (けんのかい)、ANCA (アンカ) を主宰し、子供のための音楽会、新曲の初演のほか、コラボレーションコンサートなどの企画も積極的に行っている。

特に MOA 美術館協力の 2007 年アートコンサート「尾形光琳 紅白梅図屏風に寄せて」と 2008 年「音楽の美術館」、2007、2008 年のフローリスト笹氣治男とのコラボレーションコンサートは好評を得ている。